

～次代へつなぐ豊かな農業・農協と地域社会をめざして～

2013-上期-

JA佐渡の経営内容



佐渡島の秋の味覚の代表「おけさ柿」

プロフィール

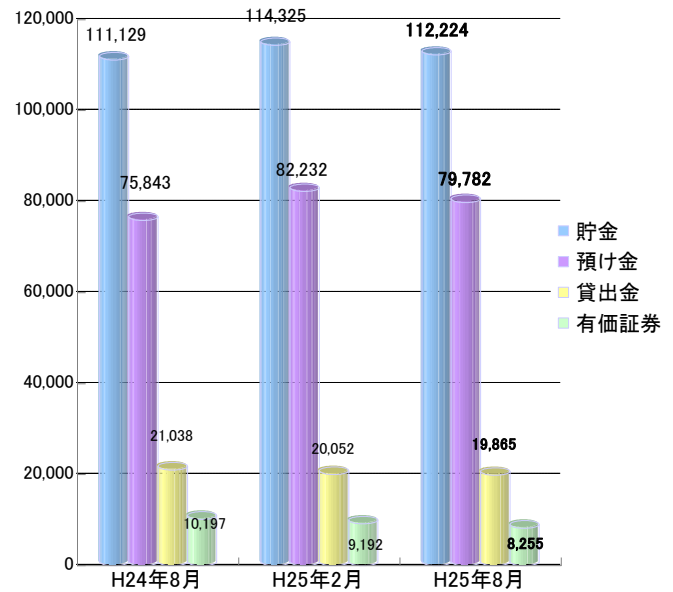
設 立	平成5年8月1日
本 店 所 在 地	新潟県佐渡市原黒 300-1
出 資 金	27億円
総 資 産	1,231億円
組 合 員 数	15,755人 (正組合員9,139人・准組合員6,616人)
職 員 数	470人
店 舗 数	本店、支店 9店、出張所 3店

平成25年8月末 JA佐渡の経営状況は次のとおりです。

主要勘定の状況

	H24年8月	H25年2月	H25年8月
貯金	111,129	114,325	112,224
預け金	75,843	82,232	79,782
貸出金	21,038	20,052	19,865
有価証券	10,197	9,192	8,255

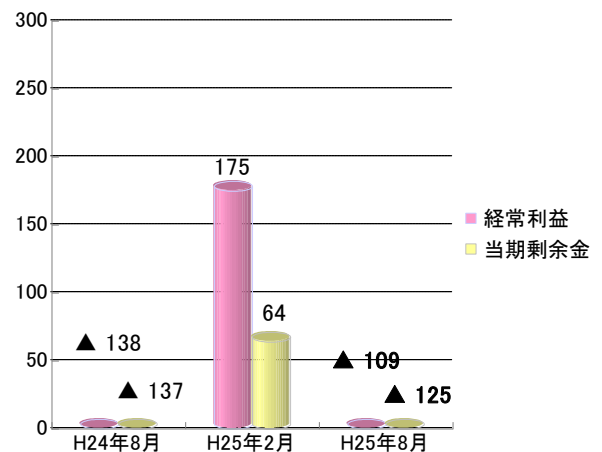
- 貯金残高は、前年比 101.0%と伸びているものの、25年2月比では減少しています。公金 15.9 億円の増はあるものの、個人貯金は、前年比 99.3% (△7 億円) の減少となっています。金利上昇キャンペーン等により個人貯金の増強を図りつつも、相続等での貯金流出に歯止めがかからないことが主な要因です。
- 預け金は前年比 105.2%と増加しています。貯金残高の増に加えて低金利による有価証券の購入見送りが主要因です。
- 貸出金は、「アグリ1」等の農業関連資金においては前年比 168.7%と伸長したものの、生活関連資金では住宅ローン等の借換え対応等に課題を残したことから残高は減少しています。
- 有価証券は 16 億円の償還に加えて、金利低下による債券購入見送りのため、残高は計画対比 26 億円の減となっています。



収支の状況

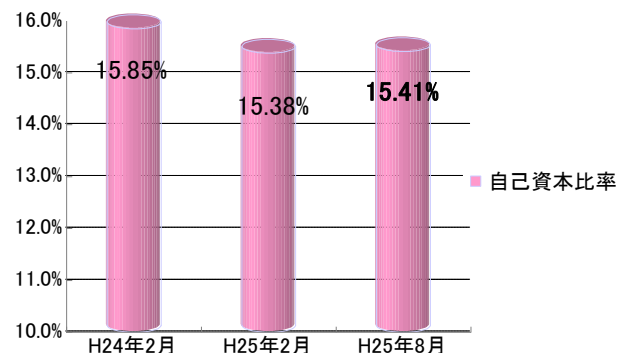
	H24年8月	H25年2月	H25年8月
経常収益	4,344	9,544	4,287
経常費用	4,482	9,368	4,396
経常利益	▲138	175	▲109
当期剰余金	▲137	64	▲125
未処分剰余金	—	144	—

- 景気低迷、低金利等の影響から信用事業をはじめ各事業とも増収が厳しい中、各事業とも着実な実績の積み上げと管理費圧縮などの総合的な経営に努め、利益の確保に努めた結果、上半期は順調に推移しました。



単体自己資本比率(推計値)

	H24年2月	H25年2月	H25年8月 (推計値)
自己資本額(A)	5,887	5,902	5,937
リスクアセット(B)	37,134	38,360	38,527
自己資本比率 (A) ÷ (B) × 100	15.85%	15.38%	15.41%



8月末の単体自己資本比率(推計値)は平成25年2月末の自己資本額・信用リスクアセット額・オペレーショナルリスク相当額を基準に、8月末までの資産増減から推計した信用リスクアセット増減額を平成25年2月末の信用リスクアセット額に加減して算出しています。

自己資本比率の算出方法について

○出資金や利益準備金、諸積立金等の自己資本額を「分子」に、資産のリスクに応じてウェイトづけをした総資産等(リスク・アセット)を「分母」として算出しています。

※リスク・アセットとは…万一の場合、貸し倒れの危険性がある資産を項目ごとに貸し倒れのリスクに応じた掛目(リスクウェイト)を乗じた総額をリスク・アセットといいます。

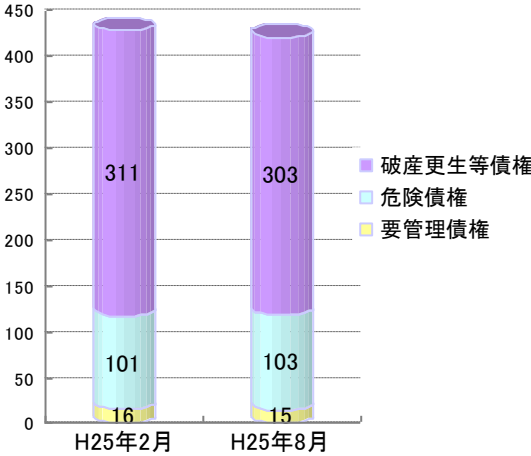
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

不良債権の状況

金融再生法開示債権(法施工規則第4条の規定によるもの)

(単位: 百万円)

	H25 年 2 月	H25 年 8 月
破産更生等債権①	311	303
危険債権②	101	103
要管理債権③	16	15
小計(①+②+③=A)	428	423
正常債権④	19,931	19,726
債権額合計(A+④=B)	20,360	20,149
債権額に占める開示債権の割合(A÷B×100)	2.10%	2.09%



開示債権と保全の状況(平成25年8月)

厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。

(単位: 百万円)

自己査定と保全の状況						金融再生法開示債権 (経済債権を含む)		リスク管理債権	
債務者区分	残高A	担保等保全額B	貸倒引当金C	保全率(B+C)÷A		区分	残高	区分	残高
破綻先	44	172	204	99.9%		破産更生等債権	377	破綻先債権	32
実質破綻先	333							延滞債権	374
破綻懸念先	157	134	2	86.5%		危険債権	157	3ヵ月以上延滞債権	—
要注意先	要管理先	96	53	0	55.9%	要管理債権	15	貸出条件緩和債権	15
	その他要注意先	491						合計	422
正常先	21,976					正常債権	22,548		
合計	23,099					合計	23,099		

リスク管理債権について

- 「破綻先債権」とは、未収利息を計上しなかった貸出金(貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸出金」といいます。)のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生じている貸出金です。
- 「延滞債権」とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したもの以外の貸出金です。
- 「3ヵ月以上延滞債権」とは、債務者が利息または元本の支払いを3ヵ月以上延滞している貸出金です。
- 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、債権の一部放棄等を行っている貸出金です。

金融再生法開示債権について

- 「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のことで、破産・会社更生・再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く3ヵ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
- 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

有価証券等時価情報

(単位:百万円)

保有区分	平成25年2月			平成25年8月		
	取得価格	時価	評価損益	取得価格	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	2,899	2,944	42	1,698	1,725	27
その他	6,052	6,294	242	6,556	6,760	204
合計	8,951	9,235	284	8,255	8,486	231

(注)1. 有価証券の時価は期末時(2月末)における市場価格等によっております。

地域経済・くらしへの貢献

当ＪＡの資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を財源とし、これを生産拡大等の設備投資を必要とする組合員の皆様等に資金としてご利用いただいております。また、佐渡においては、農業が島の経済に及ぼす影響が大きく、地域農業の維持発展を通して地域に貢献していくという「農業メインバンク」としての社会的責任を担っております。

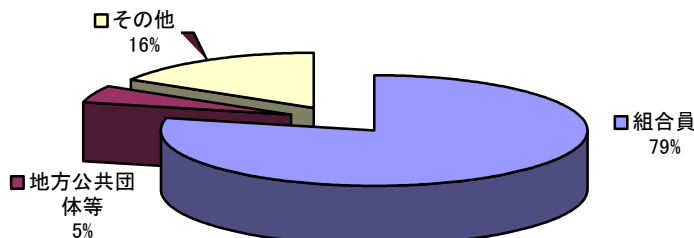
また、年金相談会の定期開催や、融資センターでの平日の営業時間延長や土日の融資相談など利便性の向上、各地域におけるキャッシュサービスコーナーの設置など、地域の皆様のくらしの支援活動に取り組みながら佐渡における「生活メインバンク」として機能発揮に努めております。

地域からの資金調達の状況

組合員・地域のご利用者の皆様に信頼され、大切な財産（貯金）をお預かりしております。

(単位:百万円)

種類	残高
組合員	88,274
地方公共団体	5,613
その他	18,336
合計	112,224

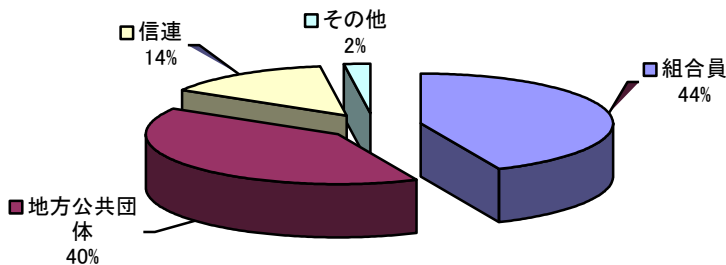


地域への資金供給の状況

組合員の皆様をはじめ、地域の皆様に必要な資金をご融資し、地域経済の発展に貢献しております。

(単位:百万円)

種類	残高
組合員	8,616
地方公共団体	10,792
その他	456
合計	19,865



※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

農業メインバンク機能強化への取り組み

地域密着型金融事業を基本として、農業融資専任担当者による農業者・法人への訪問活動を実施し、ご融資の相談に応じる態勢を整えております。あわせてＴＡＣ（営農経済渉外活動）等他部門と連携した相談機能の充実をはかっております。

こうした活動を円滑に実施するため「ＪＡバンク農業金融プランナー」の資格取得を促進し、農業者に対する適切な資金対応ができる農業融資担当者の育成をはかっております。また、ＪＡグループ新潟またはＪＡ独自の利子助成制度による農業者の実質負担金利の軽減をはかるなど、農業者支援の取り組みを行っております。

主な農業関係の貸出金残高（資金種類別）

〔貸出金〕		（単位：百万円）	
種 別		H25 年 2 月	H25 年 8 月
プロパー資金		1,320	1,478
農業制度資金		296	309
（農業近代化資金）		101	119
（その他制度資金等）		194	190
合 計		1,616	1,787

（ ）内は、農業制度資金の内訳です。

1. プロパー資金とは、当組合原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
2. 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでＪＡが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。
3. その他制度資金には、農業経営改善促進資金（スーパーＳ資金）や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

社会的貢献活動への取り組み

当ＪＡは、地域金融機関としてどなたからも身近で、親しまれ、選ばれる金融機関であるために経営ビジョンである「地域の未来を育むＪＡ」をめざして、広く地域社会に貢献すべく、次のような活動に取り組んでいます。

- ◆毎年3月と8月には「環境美化ボランティア」を実施し、組合員・全役職員参加による全島的な美化活動に取り組んでいます。また、助け合い組織「ほほえみ会」の活動を中心に、青年部や女性部組織による福祉施設等でのボランティア活動を毎年実施しています。
- ◆青果市場などと毎年11月3日に共同開催している「ふれあいアッセまつり」や、各支店を中心に実施する夏祭り・収穫祭など地域住民とのふれあいを大切にしています。
- ◆佐渡市認証米制度を通じた消費者との交流や朱鷺環境整備募金の取り組み等行政と一体となり地域のPR活動に取り組んでいます。



写真：「ふれあいアッセまつり」 体験セリ



写真：コープネット稲刈り交流ツアー「朱鷺募金の贈呈式」



写真：環境美化ボランティア（3月、8月）

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

◆JA関連施設での太陽光発電設備の導入など二酸化炭素削減、電力コスト削減をはかるとともに、夏場の省電力PRのための各施設での緑のカーテンの設置などに取り組んでいます。



写真：本店前の緑のカーテンと畑野倉庫の太陽光パネル

◆電気自動車の普及推

進を図るため金井・両津地区の「セルフ給油所」に電気自動車の急速充電器を設置し、環境PRを行っています。

これからも地域と共にあるJAを目指して

当JAでは、営農・金融事業のほかにも各種事業活動やグループ会社の活動を通じて、組合員をはじめ地域住民の暮らしの応援を行っております。

◇Aコープ店：食料品を中心とした「くらしの拠点」として、各地区に7店舗、佐渡総合病院内に1店舗を設置しております。地場産農産物の販売などで、地域のくらしと農業生産活動の橋渡し役として店舗運営を行っております。

◇農産物直売所：JA直営の直売所として昨年オープンし、地産地消運動を通じて農業振興に貢献＜菜菜きて屋まの＞していきます。現在、新たな直売所のオープン（平成26年7月予定）を目指して準備室を立ち上げ生産者との話し合い等に取り組んでいます。

◇セレモニーホール：増加するホール葬需要に応えるために、2か所にセレモニーホールを設置しております。また、自宅葬や出張葬など幅広いニーズへの対応を行っております。

◇セルフスタンド：本土に比べ高い島内のガソリン等の価格の引き下げの牽引的役割として、セルフ方式のガソリンスタンドを島内3か所に設けております。平成25年3月からは、組合員割引制度をスタートし、新加入組合員も増加しています。

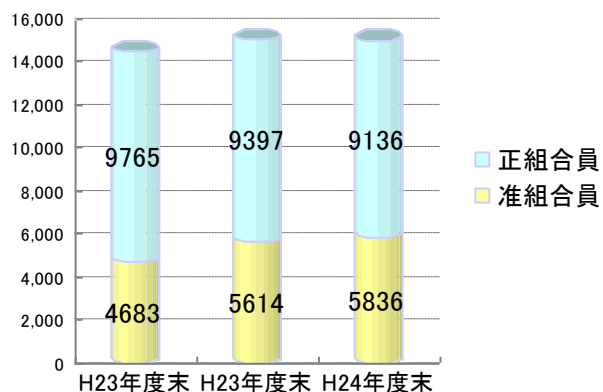
◇総合ポイント制度：各種事業のご利用に応じて会員皆様へのポイントによる還元サービスを行っています。現在会員数は約25,000名のご加入をいただいております。

★このようにJA佐渡は組合員、地域の皆様の営農とくらしに密着した様々な事業とともに、組合員加入運動に取り組んでいます。

組合員数の推移

（単位：人）

	H25年2月	H25年8月
正組合員	9,136	9,139
准組合員	5,836	6,616
組合員計	14,972	15,755



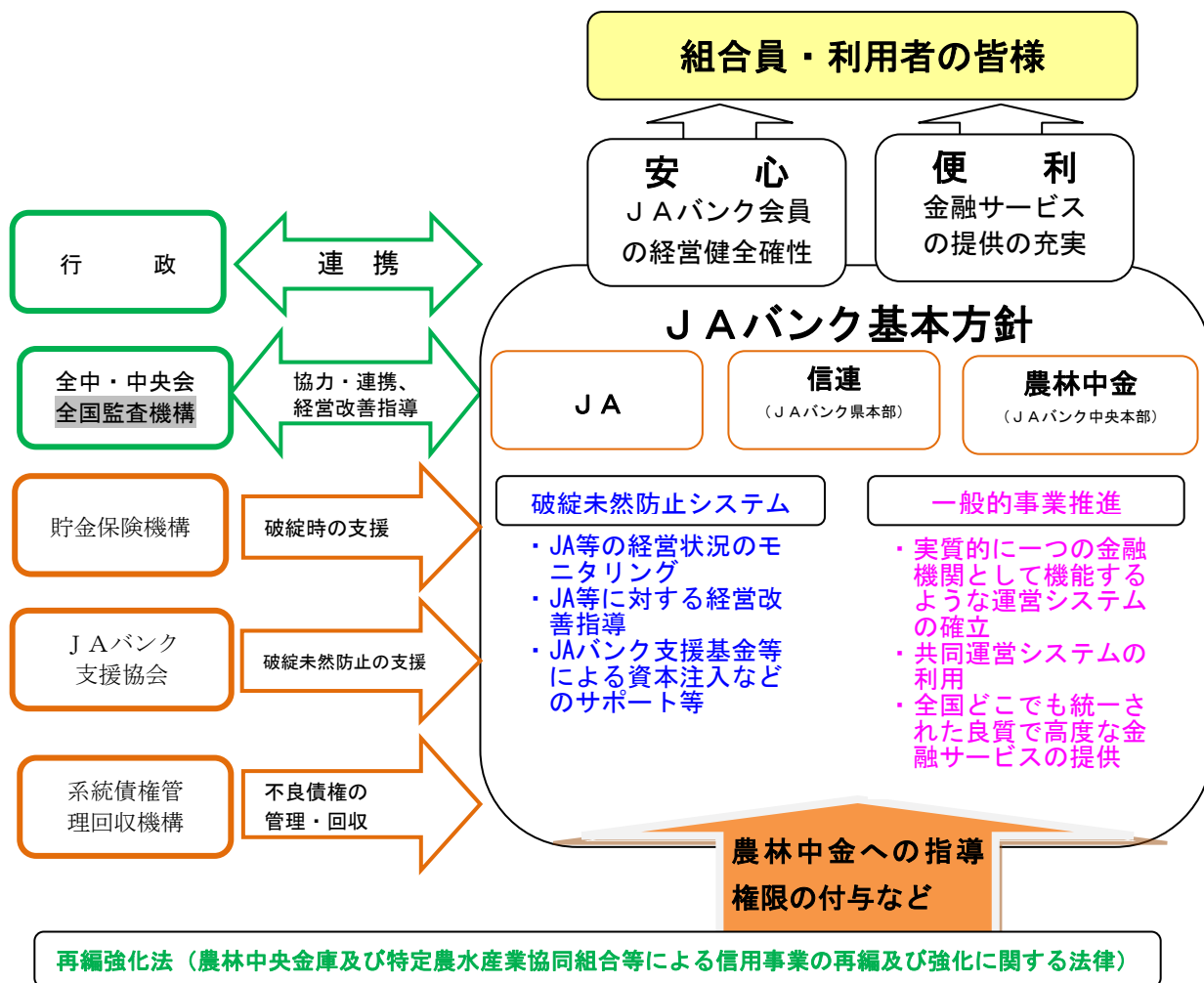
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

皆様の大切な貯金を安心バンク、JAバンクが守っています。

JAバンクシステム

JAバンクは、JAバンク会員（JA・信連・農林中金）で構成するグループの名称であり、組合員・利用者のみなさまに便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つを柱で成り立っています。



JAバンク・セーフティーネット

貯金保険制度

- 貯金者を保護するための国の公的な制度で、貯金保護の範囲は「預金保険制度」と同じです。
- 貯金業務を取り扱う全てのJA・県信連・農林中央金庫などが加入しています。

+

破綻未然防止システム

- 全国のJAバンクが協力して個々のJAを支援する、独自の制度である「相互援助制度」を一層充実・強化しています。
- 「破綻未然防止システム」とは、JAの経営状況のチェック（モニタリング）、経営改善への取り組み、「JAバンク支援基金」によるサポートを行う仕組みです。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。



佐渡農業協同組合

編集 佐渡農業協同組合 総務部

〒952-8502

新潟県佐渡市原黒300番地1

TEL 0259-27-6161

FAX 0259-27-6170

Eメール kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp

ホームページ <http://www.ja-sado-niigata.or.jp/>

JA佐渡

検索

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。